

## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

3年にわたる新型コロナウイルス感染症の流行により、夢のつばさでも2020年以降、宿泊行事を実施することができないまま現在に至っています。2022年度は、3月の最終土曜日(2023年3月25日)になって、ようやく久しぶりの対面行事「2023春の交流会」を実施することができました。これは「2021冬の交流会」以来です。

学生スタッフも、ここ数年企画立てがなかったために、段取り一つ一つに手間取り、せっかくの交流会の募集の広報が間際になってしまいました。いつも顔を見せてくれるメンバー数名から、「アルバイトや先約が変更できず欠席」の連絡が入ったことが残念でしたが、仙台市民会館を会場に、子ども7名、学生・OBOGスタッフ8名、事務局1名が参加しました。また今回は、以前よりイベントに直接参加したいと願っておられた支援者の方に、社会人スタッフとしてご一緒にいただくことができました。

今回の春の交流会では、まだコロナに気を緩めないように昼食は済ませてから集まり、体を動かして大きな声を出すようなアクティビティは避けて、マスクをして参加することにしました。学生たちは、初めて交流会に参加するスタッフと子どもたちが仲良くなること、久しぶりに対面で会うスタッフと子どもたちがたくさん話をするを狙いとして計画を立てました。

最初に全員の自己紹介と近況報告をした後、まず、「パートナーを探せ」というレクリエーションを行いました。事務局スタッフも支援者も、OGOBたちに交じって参加しました。一人一人の背中に単語が書かれた紙を貼り、周りの人と話してヒントをもらいながら、自分の背中の単語を予想します。そして「紅茶」と「コーヒー」、「海」と「山」、「仙台」と「東京」など、自分の背中の単語とペアになる単語が貼られているパートナーを見つけるというゲームです。直接的な言葉は使わずに背中の単語を本人に教えようと試行錯誤しながら楽しくコミュニケーションをとっていました。

ゲームで気持ちがほぐれたら、4人ずつのグループを作り

「すごろくトーク」をしました。すごろくのマス目に「最近気になること」とか「得意なこと」、「譲れないマイルールは？」などの様々なトピックが書かれてあり、サイコロを振って止まったマス目に書かれたトピックについて自由に話をするレクリエーションです。初めてのスタッフも顔見知りの子どもたち同士もすぐに打ち解けて、警戒心なく自分の気持ちを話することができて、すぐにいつもの夢のつばさの仲間たちの雰囲気に戻ったのはうれしいことでした。

参加したのは中2から高2までの子どもたちで、みな驚くほど背が伸びて、ファッションやヘアケア商品に興味を持つ女子も多く、とても大人っぽくなっていました。ふざけてばかりで落ち着かない印象のあった男子がすっかり体も大きくなって口数が少なくなっていたり、男子大学生スタッフの背を追い越した男子もいましたが、それでも社会人やOGOBたちの声掛けに、にっこりしながら次のイベントにもぜひ参加すると話してくれて、新しい学生スタッフもとても感激していました。支援者の方からも、「参加できてとてもよかったです。学生スタッフがすべて考えて仕切って、それを事務局が支える様子に感心しました。子どもたちの笑い声に救われる思いがしました。ありがとうございました。」という感想をいただきました。

夏に向けてコロナの推移の見極めが必要かと思いますが、ぜひとも子どもたちが待ち望む宿泊行事を再開したいと願っています。今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

(夢のつばさ♥プロジェクト)



コピー用紙で高さを競うゲーム

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号 227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 E-mail：tsubasa@npo-ochanomizu.org